

鎌倉市立第一小学校改築
基本構想

みらい会議 NEWS

No. 4

2026.02発行



WORKSHOP



\\ 第3回第一小みらい会議開催報告 // 「学校づくりの目標を、みんなの視点で考えよう！」

1月31日（土）14名の方々にご参加いただきワークショップを行いました。

「新しい学校づくりの目標」を考えよう！をテーマに、学びと生活、地域とのつながり、防災・安全の3つの視点で考えました。それぞれ子どもや地域の立場に立ちグループ発表・意見交換を行い、日常の学びや暮らしと学校がどのようにつながるかを共有しました。また、話し合いの内容をもとに、目指す学校像を端的に表すキャッチフレーズについてもアイデアを出し合いました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。各グループの発表から主な意見をまとめます。



かがやくヒーローチーム（こどもチーム）

- ・個人で行うなわとびや室内体育を増やしたい。体育館を広くしたい。とびばこは9だん以上を置いてほしい。
- ・算数のグループ学習など、**友だちと一緒に考えたりする授業**が楽しいので増やしてほしい。
- ・算数では、学校探検しながらはかりに行くなどの**体験する学習**をもっとしたい。
- ・持久走は冬は寒くて風や砂がづらいので春にしてほしい。
- ・イスがかたいので、座りやすくしたい。動くイスがいい。
- ・辞典やノートは全部iPadで見られるようにしてほしい。
- ・休み時間や放課後は、**ベッドや体育館のマット**でねたい。
- ・ボールを使って**あそんだり**できるといい。**遊べるものを増や**してほしい。
- ・放課後に体育館で遊びたい。
- ・毎日4時間授業にして、中国のように**昼休みが長い学校**がいい。
- ・給食は**バイキング**にして、**旅行みたいに楽しく**食べたい。
- ・廊下に**エアコン**をつけたい。
- ・**上ばきがよごれにくい**学校
- ・校庭に**スプリンクラー**や**ネット**があるといい。
- ・先生は担任だけでなく**いろいろな先生**がいるといい。
- ・体そう服は**いら**ない。そうじは**レンバ**を使う等、**学校のルール**も**もっと自由**になるといい。



ワクワクのびのびチーム (大人チーム)

- ・のびのび校庭で遊ぶ様子や、海・山・江ノ電が見える環境は「第一小らしさ」。
- ・情報技術でつながったり、体験など地域マッチングができる鎌倉は**どこでも学校**。
- ・子ども一人ひとりが**ワクワクして通える学校**。
- ・クラスや学年を越え、遊んだり学んだりいろいろな友だちや先生と交流できる。
- ・ランチルームをふだんから使える学校になると、毎日の楽しみが増える。
- ・山や海、畑づくりなど、自然を生かして**遊びながら学べる学校**にしたい。
- ・緑の多い環境や松林のあった歴史も、大切にしたい。
- ・地域の人と遊んだり、先生になってもらったり、顔の見えるつながりができる。
- ・通学路の見守りや防災倉庫、津波避難ビル等、日頃から地域の安心できる場所。
- ・第一小がキラキラと一人ひとりが輝き、のびのび過ごせる学校になるようなキャッチフレーズもたくさん出た。



つながろう かまくら! (大人チーム)

- ・キャッチフレーズは「大人も子どもも全員楽しい! ~地域の人々の力で体験いっぱい~」で、地域の人と**いっしょに学び合える学校**を考えた。
- ・先生だけでなく **地域の人からも教えてもらえる学校**にしたい。
- ・いつでも材料がそろっていて**工作ができる**図工室や、理科の実験、防災×実験など、**体験しながら学べる授業**をたくさんしたい。
- ・畑や座ぜん、漁師の仕事体験など、**鎌倉らしさを生かした学び**ができる
- ・学校の中には、お悩み相談室や、一人で落ち着ける場所、集中できる場所など、**だれにでも居場所がある学校**にしたい。
- ・地域の人々が材料集めや見守りをしたり、自治会と協力したりして、**時間や力を分け合える学校**。
- ・防災では、備蓄倉庫や炊き出し体験、逃げ地図づくりなどを通して、**地域の人や観光客も安心して避難できる学校**を目指したい。



ゆるゆる (大人チーム)

- ・ダラダラ・ゆるゆる・のびのび過ごすことで「**学びたい**」が育つ学校。
- ・子どもも大人も、ゆるゆるできる時間や場所が大切。
- ・すわれたり、ねっころがれたりする場所、**学ぶ・遊ぶ・休む (オンとオフ)**を大切に。
- ・山・海・寺・神社などの自然や文化を生かし、**体験しながら学べる環境**。
- ・多世代で交流し、自分の「**やりたい**」を見つけ、**チャレンジ**できる学校。
- ・町のリビングのように、**集まって、安心して、笑って過ごせる場所**。
- ・地域とつながり、校庭や体育館、図書館などを共有し、**安全に配慮しながらみんなが使える学校**を目指したい。
- ・津波に強く、子どもと地域の人や観光客も避難でき、**日常と災害時がつながる安心な学校**。



全体意見交換

- ・これからの学校は**いろいろな人の知恵をつなげる学校**になっていくと思う。
- ・体験して学ぶことが大切で、**地域の人と一緒に体験できる学校**は、ひらかれた学校になる。
- ・先生も子どもも、**休むことは大切**で、がんばりすぎず、リラックスできる時間や場所があると、元気に学べる。
- ・**禅ルームのような落ち着ける場所**があると、みんなが心を整えられる。
- ・子どもたちからは、4時間授業がいい、自由を増やしたい、屋上に行きたい、もっと遊びたいなど、「**自由**」と「**ゆるさ**」を大切にしたい声があった。
- ・第一小らしさは「**星月 (ほしづき)**」や星月通り、木の下駄箱、自然が多くリスがいることなどがあがった。
- ・**いろいろな立場の声を聞いたこと**が大きな気づきになった。
- ・先生の負担を減らしながら、**地域の人と選りながら学べる体験の場**をつくれるとよい。
- ・意見交換はとてもおもしろく、周りの人の関心も高いので、**多くの人に参加できるような周知の工夫**も大切だ。

